



英語で「学び」・「考え」意見を構築する体験！

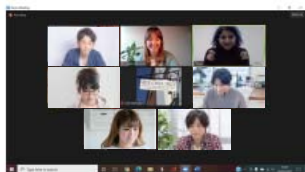
第4回 オックスフォード Online アカデミック講座

11月22日(月) - 12月3日(金) 2週間 : 138,000円(税込)

POINT
1

少人数で学ぶ CLIL 方式の授業 やさしい英語でテーマを深掘り！

CLIL(Contents and Language Integrated Learning) 方式の授業は欧州で広く導入されている語学教授法。テーマ (content) と語学 (language) の学習を組み合わせ、学習者の思考に焦点をあて、コミュニケーション力を伸ばします。オックスフォード Online アカデミック講座では、この CLIL 方式で「ビジネス」「芸術」「社会問題」などに関連したテーマを取り入れます。一見、英語で学ぶには難解な事柄も、日本の学生への授業に熟練した教師が、分かりやすい英語を使いながら、各自の思考を促し、意見を英語で引き出していきます。プログラムは Live 授業+交流セッション、発表、予習復習の自主学習、その他 1対1 の個人指導、宿題などで構成されます。



■ サンプルスケジュール (2週間)

授業例	月	火	水	木	金
18:00 20:15	Oxford Introductory / History オックスフォード ①	University of Oxford, Art & Architecture オックスフォード ②	Multiculturalism 多文化社会	Interactive Review of week 振り返り	Oxford 大学の 学生と 交流セッション
18:00 20:15	Motivation 生き方、働き方 について	Leadership リーダーシップ	SGD's 持続可能な 開発目標	Interactive Review of week 振り返り	Presentation 発表
担当教師と1対1のチュートリアル個人レッスン (週1回15分間)					
授業前 授業のテーマについての事前学習、テーマの関連資料、ビデオ、語彙リストで予習準備					
授業後 授業のレビュー、宿題、クイズ etc.					

■ オックスフォード Online アカデミック講座 (Live 週10時間 + 自習週5時間)

期間	開始日～終了日	プログラム費用 (税込)
2週間	11月22日(月)～12月3日(金)	138,000円

(費用に含まれるもの) 入学金、授業料、教材費



◀ 申込の条件は

申込みフォームは▶



POINT
2

先生とつながるプラットフォーム Edomodo で予習・復習も！

Live 授業では、予習と復習が課されます。学習プラットフォーム Edomodo を通し、授業に関して担当教師から毎回課題が与えられ、各自で1日1時間を目安に取り組みます。



POINT
3

Oxford 大学生との交流セッション、 同世代との交流で“学び”のヒントを！

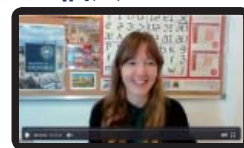
オックスフォード大学生と Online 交流セッションを実施します。世界でも選ばれた人材が集まるオックスフォード。学生たちは、ここで何を学び、何を目指し、どんな日常を送っているのでしょうか。「毎日の勉強時間は？」「部活はあるの？」「アルバイトはしないって本当？」「将来の夢は？」勉強から趣味のことまで、ざっくばらんに語り合う楽しいオンライン交流会です！



POINT
4

先生をひとり占め！ 1対1でチュートリアル個人レッスン

プログラム期間中、担当教師と1対1のチュートリアル個人レッスンを週1回(15分)、合計2回行います。授業への質問など、英語のコミュニケーションに自信をつけましょう。



募集要項 (2021年)

プログラム日程	11月22日(月)～12月3日(金) 2週間
募集人数	22名 ※最小催行10名 1クラス12名以下
英語力	TOEIC500以上 目安
授業形態	オンライン授業
申込締め切り	11月2日(火)
プログラム主催	CIE-College of International Education Oxford



↑ プログラムの
紹介動画はこちら

テーマを深掘り！ 英語で「考え」「意見を述べる」オンライン授業



テーマ授業①

Art and Architecture, Oxford University

僅か一平方マイルの小さな空間に、様々な年代の、いろいろな建築様式の建造物を見ることができるオックスフォード。中心となる13世紀ゴシック建築と18世紀ネオクラシカル建築について、その特徴や時代背景を解説します。また、建物の様式がその時代の社会の変化や宗教に深く関わっていることも事例をあげながら学んでゆきます。一方的なレクチャーではなく、建物の特徴について発見できることや、感想も求められます。事前学習では、オックスフォードのバーチャルツアーをビデオで鑑賞し、予めポイントを学んだうえでライブ授業に臨んでいただきます。

受講者からは、「何も知らずに建物を見るより、知識をつけた上で見る方が何倍も楽しめて理解も深められると思うので、いつかオックスフォードを訪問し、現地で実物を見たいなと強く思いました。」といった感想をいただいています。



テーマ授業②

Multiculturalism

多文化社会という言葉はよく耳にしますが、実際にはどのような社会を指すのでしょうか。まず、プログラムの予習用の動画で、多文化社会に関する基本的な考え方や、ポイントとなる語彙について学び準備をしていただきます。授業では、イギリスを例にあげ、どのような経緯でイギリスが多文化社会になったのか、なぜ移民は増え続けるのか、歴史を踏まえて解説をします。多文化社会を象徴する「メルティングポット」と「サラダボール」が意味すること、様々な人種や国籍の人が混ざり合うことで、新たな価値観や文化が生まれるという視点なども取り上げます。多文化社会の良い点や問題点、日本の社会は多文化といえるか？ etc. 意見を出し合いながら学ぶ授業です。



テーマ授業③

SDGs

SDGsとは2015年9月の国連サミットで採択され、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた17の目標と169のターゲットを指します。何となく開発途上国の問題だろうと思いがちですが、子供の貧困や男女平等など、日本が抱える身近な問題も含まれています。

授業はまず、世界が直面する問題やテーマにはどんなものがあるのかを考えることから始まります。その中から一つのテーマについて、日本の現状を参加者一人ひとりが説明をします。また、なぜ17の目標が必要なのか、実際に各国が行っている政策についても考えます。2時間ではカバーしきれないほど、奥が深いテーマですが、授業では、先生が答えを教えるのではなく、何枚かの写真を見ながら「何を伝えていると思う？」と問いかけながら進みます。他の参加者の様々な意見を聞き、自分の考えを英語で伝える貴重な機会となります。

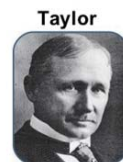


テーマ授業④

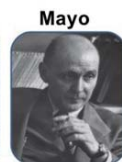
Business Motivation

人はなぜ働くのか？働くことへの意欲や動機付けは何から生まれるのか？少し難解なテーマに取り組む授業です。事前の予習では、Motivationとは何か、例えば身近な例から、「あなたはなぜ故郷学校に行くのか？学校で新しいことを学ぶためにMotivationとなっている要素を書き出そう」といった課題が出されます。また、授業のスタートとなるFrederick Taylorが提唱した「科学的管理法」の概要について、事前学習資料が配布されます。

授業では、働くことへのMotivationについて考えます。以下4人の経営学者や心理学者らが提唱した理論を紹介し、それぞれの理論の相違点や特徴を解説するとともに、働きかたについての歴史をたどります。授業は理論について学ぶのが目的ではなく、その根底にある考え方について、参加者に意見を求めます。一方的なレクチャーではなく、「あなたは思うか？」を問う授業です。



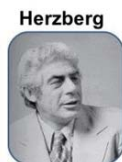
Scientific management



Human relations management
Hawthorne Effect



Hierarchy of needs



Two-factor theory
Motivators
Hygiene or maintenance factors

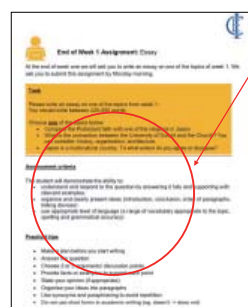


Oxford 大学生との、交流セッション

現役のオックスフォード大生と語り合う、2時間のセッションです。同世代の若者同士、様々な話題で自由な会話を楽しんでいただけます。予め質問したい内容を提出していただきますが、即興の質問ももちろんOK！日本のポップカルチャーや日本のお勧め観光地について等、オックスフォード大生からも、いろんな質問が飛び出します。授業を担当する先生とは異なり、ナチュラルなスピードで話すので、実際の英語コミュニケーションを体感する機会にもなります。



Assignment 宿題



<エッセイの書き方アドバイス>

Practical tips

エッセイを書き方、構想を準備、問いへの答、争点をピックアップ、事実を集める、フレーズを使って繰り返しを避ける、短縮形は使用しない etc.

Useful structures

比較、賛否、接続表現

Common mistakes

冠詞の用法、3人称、複数形、進行形、過去形

Assessment Criteria

評価の基準